

施策評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名【1】	子育て支援課長 中尾根 敬一
主管課(関係課)【2】	子育て支援課(子ども家庭支援センター、保育課、児童青少年課)

施策名【3】		分野【4】		まちづくりの方向性【5】		
創2-2 子育て支援の促進		子どもがのびやかに育つために		創造性の育つまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】			施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	<p>西東京市の子育ての環境を改善するためには、人口増加の見込みを踏まえた保育サービスや子どもの安全の確保、家庭や子どもの成長過程に応じた支援を行う必要があります。さらに、医療費助成など子育て家庭の経済的負担を軽減することで、子育てをしやすい環境をめざすことも重要です。</p> <p>子育ての環境の中には、ひとり親家庭の増加や障害児をもつ家庭など、さまざまな事情が存在します。ひとり親家庭への支援や障害児をもつ家庭を地域で支えるしくみなどにも取り組むことで、子育て環境全般の改善に努めます。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来人口を見越した保育サービスの確保(保育園・学童クラブ・児童館)</li> <li>・障害児をもつ家庭への支援</li> </ul>	<p>子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境づくりを進めます</p>	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】					
◇平成24年8月に幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育てを総合的に推進するための「子ども・子育て関連3法」が制定されました。						
事業群	事業群名【10】			事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	子育て支援サービスの充実に努めます		総合的な子育て支援のための子育て支援サービスの充実		
	2	子育て環境の整備を進めます		多様な保育ニーズに対応した保育園や学童クラブなど子育て環境の整備		

【施策の成果】




				年度	19	20	21	22	23	24		
成果指標【12】	指標1	名称	「出産・育児などの子育て支援環境の充実」に対する市民満足度	目標値	30%			単位	%			
		算出式・説明	子育てを総合的に支援する、子育て相談、交流広場、一時保育を充実して実施していくことで、西東京市で子どもを育てることの安心感や助け合いによる子育て環境をつくることができます。市民意識調査で把握します。			実績値	16.9	16.9	16.9	14.9	14.9	18.6
		達成率	56%	56%	56%	50%	50%	62%				
	指標2	名称	病後児保育室の充実	目標値	1件			単位	件			
		算出式・説明	子育てと仕事などの両立を支援し、児童の健全な育成に寄与するため、子どもが病気のときに一時的に預けることのできる施設が必要です。病児保育を含めたサービスの質的向上を目指します。指標の目標値は病児保育のサービスが拡充された状態を1として設定しています。			実績値	0	0	0	1	1	
		達成率	0%	0%	0%	100%	100%	0%				
	指標3	名称	保育園の建替・整備	目標値	2箇所			単位	箇所			
		算出式・説明	老朽化した保育園の建替・整備を計画的に実施し、子育て環境の改善を図ります。			実績値	0	1	1	1	2	
		達成率	0%	50%	50%	50%	100%	0%				
	指標4	名称	学童クラブの建替・整備	目標値	7箇所			単位	箇所			
		算出式・説明	大規模学童クラブの解消及び老朽化した施設の建替・改修を行い、子育て環境の改善を図ります。			実績値	1	2	2	6	6	7
		達成率	14%	29%	29%	86%	86%	100%				
達成率の平均値				18%	27%	30%	57%	73%	19%			

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	16.9%	満足度(%)	14.9%	満足度(%)	18.6%
満足度(平均ポイント)	-0.22	満足度(平均ポイント)	-0.26	満足度(平均ポイント)	-0.11
重要度(%)	77.9%	重要度(%)	76.8%	重要度(%)	75.3%
重要度(平均ポイント)	1.37	重要度(平均ポイント)	1.36	重要度(平均ポイント)	1.36

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】	◇平成24年度の市民満足度は18.6%で過去の調査から少しずつ改善しているものの目標の30%に達しませんでした。子ども家庭支援センター、基幹型保育園、児童館、学校などにおいて子育て相談、交流広場、一時保育など様々な子育て支援サービスを展開しています。これらの取組の評価・検証と見直しが課題です。 ◇定員6名の病児・病後児保育室が保谷駅至近に1箇所、定員4名の病後児保育室が田無駅至近に1箇所と同規模の市と比較して設置数、定員ともに充実し、多くの利用者があります。 ◇老朽化した西原保育園、すみよし保育園の建替え・整備については、目標を達成し受入人数の拡大を図ったところですが、待機児童数は依然として高い水準で推移しています。このような状況とともに、増加傾向を示している就学前人口や保育の潜在的需要など合わせると、今後の保育サービスを如何にして確保していくのが課題となっています。 ◇大規模学童クラブの解消及び老朽化した施設の建替え・改修を目的に、西原学童クラブのほか6クラブを整備し、平成24年4月には児童数の増加に対応し上向台第二学童クラブを開設しました。児童が増えている地域や定員を大きく超過している施設については、新たな用地の確保等が課題となっています。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要性【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇子ども家庭支援センター、基幹型保育園、児童館において展開される子育て支援サービスについて子ども福祉審議会による評価・検証の結果を踏まえ、市民ニーズに適合した事業への見直しにより、市民満足度の向上を図ります。 ◇病児・病後児保育については、現状において高いサービス水準にあることから、今後とも利便性の向上に努めます。 ◇新たな保育サービスの確保については、待機児童の解消のため平成23年度より私立の認可保育園整備について計画・実施しています。また、子育てを経験された市民の方に協力をいただき、保育ママとして乳幼児の保育にあたっていただくことで保育サービスを確保するとともに、子ども・子育て関連3法の動向に留意しながら、子育て環境の整備に努めていきます。 ◇大規模マンションの建設に伴い児童数が増加している向台小学校通学区域の学童クラブ並びに定員を大きく超過している学童クラブについて、用地の確保等を踏まえながら増設を検討していきます。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	
	施策実施方針【22】	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	子育て支援の促進については、病児保育への体制拡充が行われ、一定のサービス水準に達しました。また、保育園及び学童クラブの建替・整備についても着実に施策成果を上げており、他市との比較で見てもこれらのサービスは高水準にあるということが市民意識調査における満足度の向上にも表れているものと考えられます。 今後の対応としては、各種事業の見直し等を通じて市民満足度の向上を図りつつ、保育環境の整備においては、適切な耐震改修の実施や民間活力の活用による待機児童の解消に向けた取組を進め、学童クラブにおいては児童数増加地域と定員超過施設への対応、及び定員割れ学童クラブの見直しを一体的に進めるとともに、民間活力を積極的に導入することでさらなるサービス向上の取組みを進めていきます。 市民意識調査の結果では、重要度は依然として高水準にありますが、平成22年度施策評価において打ち出した施策内容の拡充・コスト重点化の結果、満足度は一定の向上を見せたことから、今後は現在の水準を維持することを基本としながら、さらなるコスト需要が生じた場合には、それについても適切に対応すべきものと判断しました。
	施策実施方針【22】	IV 必要な場合はコストをかけて成果を維持すべき施策領域

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	子ども家庭支援センターの運営（子育て支援ショートステイ事業）	子ども家庭支援センター	市内に在住する1歳6か月から12歳までの児童の保護者が、疾病や冠婚葬祭等の理由により、児童の養育が一時的に困難となった場合に、一定期間市が指定する児童養護施設において養育する事業です。
	子ども家庭支援センターの運営（育児支援訪問事業）	子ども家庭支援センター	養育困難な家庭に訪問し、育児の支援を行います。
	子ども家庭支援センターの運営（子育て広場事業）	子ども家庭支援センター	0歳から3歳までの乳幼児と保護者の遊び場及び交流の場を提供し、子育て不安の解消や仲間づくり等の子育て支援を行います。コール田無「ピッコロ広場」、住吉会館「のどか広場」の2か所で実施しています。
	ファミリー・サポート・センターの運営	子ども家庭支援センター	育児の支援を行う人〔サポート会員〕と育児の支援を受ける人〔ファミリー会員〕が、地域の中で助け合いながら子育てをする有償ボランティア活動を運営しています。（社会福祉協議会委託事業）
	病児・病後児保育室の運営	子育て支援課	病気の最中や病回復期にあつて、保育園や幼稚園に通園できない子どもや保護者の都合により育児・看護が困難となったときに、医院に併設した場所で子どもを一時的に預り、子どもの病状が悪化したときは、その医院の医師が対応する事業です。 医療機関2施設に業務委託しています。定員：病児病後児保育室えくぼ6名、病後児保育室ぱんだ4名
2	保育園施設の大規模改修	保育課	ほうやちよう保育園は、平成元年都営住宅の建替えに伴い、旧ふじ保育園が移転した施設ですが、築20年を経てクーリングタワー方式の空調を中心に老朽化しており、点検においても交換の必要性が指摘されていることから、平成22年度に、空調設備を中心に内装、建具、調理室等の改修を行いました。 平成24年度には、平成25年度に民間委託化を予定しているひがしふしみ保育園を内装、建具等の改修を実施します。
	保育園施設の耐震改修	保育課	耐震促進法により対象となった保育園（けやき、はこべら、なかまち、ひがし、しもほうや、やぎさわ）の耐震診断を行い、必要な改修工事等を行うことを予定しています。 平成23年度になかまち、ひがし各保育園の耐震改修、平成24年度にやぎさわ、ひがし各保育園の耐震改修を実施するとともに、けやき、はこべら各保育園の耐震診断を前倒しで実施し、翌年度以降に耐震実施設計、耐震改修工事を行い、計画より1年早く平成26年度に耐震化率100%の目標を達成します。
	子育て相談、交流広場、一時保育事業の実施	保育課	保護者の方のさまざまな理由により保育に欠ける状態になったときに、一時的に保育園で児童を預かる事業であり、最大で週に3日利用することができます。 一時保育実施園は市内で7園（西原保育園、ほうやちよう保育園、しもほうや保育園、みどり保育園、田無保育園、そよかぜ保育園、アスクたなし保育園）実施し、平成23年度から公共施設予約管理システムを使用した予約方法に変更しました。また、基幹型保育園も目標の5か所を達成し、地域の子育て家庭へのサービスの提供と、子ども家庭支援センターや母子保健と連携し育児困難家庭への支援を行います。
	保育園の民間委託の実施	保育課	多様化する保育ニーズに対応し効率的な運営を行なうため保育園運営に民間委託を進めています。 これまで4園を民間委託し、平成25年度委託予定のひがしふしみ保育園は受託事業者を決定しており引継ぎを始めています。今後、平成26年度にはほうやちよう保育園、平成27年度には、芝久保保育園の民間委託を実施し、平成27年度までに合計7園を民間委託化していく予定です。 民間委託を実施した園では、受入対象年齢の拡大や、延長保育・一時保育等が実施されています。

総コスト(千円) : 評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費					
6,888	3,622	3,266	継続実施 (平成23年度)	中	児童を養育する保護者が疾病等により、一時的に養育が困難となった場合に、安心して子どもを預けることができることから、児童及び家庭の福祉の向上を図ることができます。	B
2,748	582	2,166			児童の養育について、自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に対し、過重な負担がかかる前に、支援員等が訪問することにより育児等の負担軽減を図ることができます。	B
33,010	14,187	18,823	継続実施 (平成23年度)	中	子育て中の保護者同士の交流の場を作ることにより、子育て不安の解消や仲間づくり等、子育て支援の向上を図ることができます。	B
11,443	8,993	2,450	継続実施 (平成23年度)	中	身近な地域における育児の相互援助活動を促進することで、親が安心して子育てができ、地域と関係機関が一体となり、子どもの成長を支援する社会づくりに寄与します。	B
24,878	23,980	898	改善・見直し (平成21年度)	上	病気の最中や病気回復期にある子どもを一時的に預かる事業の実施により、保護者の子育てと就労の両立支援と児童の健全な育成に寄与します。	A
51,761	49,311	2,450	事業化 (平成21年度)	—	老朽化した保育園施設の改修により、子育て環境の質の向上が図られます。また、民間委託を円滑に進めるための事前事業としても位置づけられています。	B
86,278	83,012	3,266	事業化 (平成21年度)	—	保育園施設の耐震化を進めることで、子育て環境の安全性を確保することができます。	A
63,369	55,204	8,165	改善・見直し (平成21年度)	中	在宅で子育てを行っている家庭への様々な支援をメニューを設け、子育てサービスの向上を図る。	B
665,264	661,181	4,083	継続実施 (平成18年度)	中	民間のノウハウの導入により保育サービスの拡充が図られると共に、民間委託によって生じた人的・物的資源をもとに、地域の子育て家庭に対する新たなサービスの仕組みを整備することができます。	B

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	学童クラブ施設の増設の検討	児童青少年課	<p>(創2-1 児童館施設の改修で実施)</p> <p>国の放課後児童健全育成事業(放課後学童クラブ事業)の方針(大規模学童クラブの解消、1施設71名以上の学童クラブへの運営費補助金の廃止)により、その該当学童クラブ施設への対応策として平成21年4月から仮設施設においてひばりが丘第一学童クラブ、ひばりが丘第二学童クラブに分割しました。また、けやき学童クラブについては近接する西原児童館の改修工事に合わせ、児童館内に学童クラブを設置し、22年4月に30番目の学童クラブとして開設しました。また、芝久保学童クラブについては近隣マンション開発による児童増加に対応するため上向台小学校隣地に上向台第二学童クラブを新設し、24年4月に開設しました。</p>
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費				
0	0	0		大規模学童クラブの解消を図ることで、子どもの安全で快適な空間を確保し、児童福祉の向上に寄与します。	B
945,639	900,072	45,567			